

第2回大野市総合教育会議 会議録(抜粋)

日 時：平成27年7月30日（木）午後4時30分～5時25分

場 所：大野市役所 談話室

第2回大野市総合教育会議次第

日時：平成27年7月30日(木)午後4時30分から

場所：市役所 談話室

1 開会

2 あいさつ

3 協議

(1) 平成27年度全国学力・学習状況調査結果の公表について

・・・資料1

4 その他

<出席者>

	市 長	岡 田 高 大
	委員長	洞 口 幸 夫
	職務代理者	清 水 美 那 子
	委 員	山 川 秀
	委 員	妙 願 貴 子
	委 員	松 田 公 二
事務局（説明者）	企画総務部長	田 中 雄 一 郎
	企画財政課長	加 藤 正 幸
	企画財政課参事	中 村 吉 孝
	教育長（再掲）	松 田 公 二
	事務局長	小 川 市 右 工 門
	教育総務課長	木 戸 口 正 和
	学校教育審議監	道 鎮 栄 一
	生涯学習課長	宮 越 剛 生
	〃 文化財保護室長	中 村 り え 子
	〃 スポーツ振興室長	砂 子 淳 一
（書 記）	教育総務課課長補佐	山 田 靖 子

1 開会

【企画財政課長】第2回大野市総合教育会議を開催させていただきます。

2 教育について

【企画財政課長】では、岡田市長よりあいさつをお願いします。

【市長】教育委員会制度も変わり、この総合教育会議も円滑に進めていきたいと思っております。また、今後、学校教育だけでなく生涯学習などについても紆余曲折あるのだろうと思っています。

いずれにしても、教育環境づくりに努めたいということをお願いし、開会のあいさつとさせていただきます。

3 協議

【企画財政課長】それでは、これからは、市長の議事進行をお願いします。

【市長】レジュメに従い、3 協議事項の一番目、平成27年度全国学力・学習状況調査結果の公表について、事務局の説明をお願いします。

【教育委員会事務局長】資料1をご覧ください。

——<資料1 平成27年度全国学力・学習状況調査の公表について 説明>——
教育委員会で協議を行った結果を、今回提案させていただきました。

【委員長】教育委員会では、昨年同様、調査結果の点数は公表しないでおこうということになりましたので、市長のお考えをお聞きしたいと思います。

個々の子どもの点数等については本人、保護者に正しく伝えられるので、あえて相対的な数値の公表は必要ないのではないかとというのが、その理由です。

【市長】成績の良し悪しは別として、対象の学年全員が受けるのでしょうか。平均点上げるために成績のいい子ばかりが受けるということではないのですね。

【教育長】点数が公表されると、そういうことが懸念されます。

【市長】記号「◎、○、△」より、「○ポイントいい」という表現でいいのでは。
記号では分かりにくい。

【委員】新聞や広報では、それぞれの記号についての説明がなされています。

【市長】例えば、「県平均よりプラス○ポイント」という具体的な数字を出してはどうか。出さない理由があるのか。

【学校教育審議監】点数を出すことによって良い結果だけをもたらすのではなく、学校現場が点数を上げることに集中するのではないかと懸念しています。

本人、保護者には、データを知らせているので市民には、概略的なところを知ってもらえばいいのではないかと考えています。

【市長】 分かりにくい。

【教育長】 点数で比較すると優劣がついてしまいます。優劣をつけると、全人教育をしなければならない学校が、点数に関係のない情緒的な部分が割愛されていくようになります。点数に影響される公表はなるべく避けたいというのが考えです。しかしながら、説明責任としての公表の必要があるため、市民には概要を示せばいいと思っています。

【市長】 生活や学習の状況についても調査したのですか。

【学校教育審議監】 小学校6年生では、87項目の学校や家での勉強や生活の様子について質問紙による調査がありました。

【市長】 地域の人との関わりについてやじいちゃん、ばあちゃんと同居しているのかというような質問もあるのですか。

【学校教育審議監】 質問紙には「住んでいる地域の行事に参加している」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えている」などの項目も含まれています。

【委員】 択一式ですか、記述式ですか。

【学校教育審議監】 あてはまる、ほぼあてはまる、あてはまらない、ほぼあてはまらないの4つから選ぶようになっています。記入について、教師が補足説明しています。

【市長】 総合的な学習について質問の趣旨は理解できる。しかし、「(4)携帯電話やスマートフォンを持っていない」という裏からものを聞くような質問の仕方はおかしい。スマホを持っていることを前提とした質問である。

【企画総務部長】 確認させていただきたい。2ポイントを単位にして記号で表記しているが、例えば単位を5ポイントにすることも検討したのですか。

【教育長】 単位を上げると◎、○の表記が多くなりますが、今度は、公表する意味がなくなります。

他の市町では、単位を3ポイントとする自治体もありますが、大野市では検討した結果2ポイントを単位としました。

【市長】 「将来なりたい夢は」とか「地元で自信を持っているか」というような内容の質問はないのか。

【学校教育審議監】 「夢や希望を持っているか」という質問はあります。他に、「地域の人の役に立つ」「感謝しているか」「いじめはいけないと思うか」などの質問もあります。

【市長】 生活や学習の状況調査の広報に掲載する項目を検討した方がいい。「スマホを持っているか」は出さなくていい。

【学校教育審議監】 はい、吟味します。

【市長】 では、全国学力・学習状況調査結果の公表について特段ご意見がなければ、昨年同様の形態で公表するというところでよろしいですね。

他になければ、以上で、第2回大野市総合教育会議を終了します。ご苦労様でした。

午後5時25分終了